

東京海洋大学 中期的研究推進戦略

本学は東京商船大学と東京水産大学が統合した経緯を踏まえ、我が国唯一の海洋に関する総合大学として研究の一層の高度化・活性化を図るとともに、若手研究者の育成等を進め、平成 33 年までに、この分野における世界最高水準の卓越した研究拠点形成を行うことを目指す。

このため、社会のニーズや科学技術基本計画等を踏まえ、環境、資源、エネルギーとそれらの周辺領域を核とした海洋分野におけるグローバルな課題に挑戦し、持続的発展が可能な社会の創造に貢献する。

I 研究の高度化及び活性化の推進

- (1) 本学における基礎・応用研究の高度化と一層の活性化を図る。
- (2) 学際型の研究を推進するとともに、平成 23 年度に決定した重点研究を基本として、拠点形成の核となる世界をリードする研究の育成を図る。
- (3) 研究高度化の指標となる論文数、被引用件数、SS 論文数の増加を目指す。
- (4) 包括連携機関や海外の学術交流協定締結機関との連携強化を図る。

II 若手研究者等の育成

- (1) テニユアトラック制度の導入を目指す。
- (2) 若手研究者育成のための教育ユニットを設置し、必要な指導体制を確立する。
- (3) 基本方針の策定やキャリアパスの多様化も含めた指導の充実により、博士研究員の育成を図る。
- (4) グローバルに活躍できる優れた若手研究者の育成を目指し、海外長期派遣等の諸制度の整備・充実を図る。

III 研究環境の整備等

- (1) 学内の研究施設・設備の共同利用推進のための全学的なルールの策定、研究スペースの見直し、教育研究外業務の負担軽減措置等、研究支援体制を整備する。
- (2) ホームページの充実や公開講座の積極的開催等、研究のアウトリーチ活動を強化する。